

35 家庭内感染の防止について

**【問】**

新型コロナウイルス感染拡大の原因の一つに、家庭内感染があると思われま  
す。

栃木県では、1月18日現在、入院調整中の方が962人（療養者1,37  
6人の約70%）です。感染した方の入院調整中に、家庭内でその家族が感  
染する可能性があります。

あらかじめ家庭内における感染防止対策が徹底されていれば、もし感染が分  
かった場合でも家族に感染が広がることを防ぐことができると考えます。

- ①家庭内感染の防止について、佐野市の考えを伺います。
- ②栃木県内で家庭内感染だと思われる感染者は、全体の何パーセントです  
か。
- ③佐野市の感染者数及び栃木県内の入院調整中の方の人数をそれぞれ伺い  
ます。
- ④家庭内感染の防止について、どのように周知していますか。

**【答】**

①家庭は日常生活を送る身近な単位であるため、家族の中に感染者が出ます  
と、同居の家族が感染してしまう危険性は大きいものです。また、年末か  
らの感染拡大の一つの要因としても帰省した家族からの感染も見受けら  
れることから、家庭内の感染防止は大変重要なものと考えております。

②県の資料によりますと、感染経路が「家族・同居」であった方は、令和2  
年12月 28. 8%、令和3年1月 31. 6%でありました。

→ 資料35「第44回栃木県新型コロナウイルス感染症対策本部会議  
(令和3年1月22日開催) 資料」

③本市の感染者は1月21日現在、282人です。栃木県内の入院調整者は  
693人です。(表1参照)

④市では、現在、ホームページで「家庭内感染が多い理由」について掲載し、  
家庭内での注意ポイントを啓発しているところです。

新規感染者の確認が続いている現状では、いつ、家族の誰が感染するかわ  
かりませんので、日頃から、感染防止対策を各個人がとり、家庭に持ちこ

まないようにすることを基本に、家庭内における注意点を更に周知していきたいと思えます。

なお、感染者が自宅療養となった場合、安足健康福祉センターから家庭内感染を予防するための注意点について直接説明がございます。

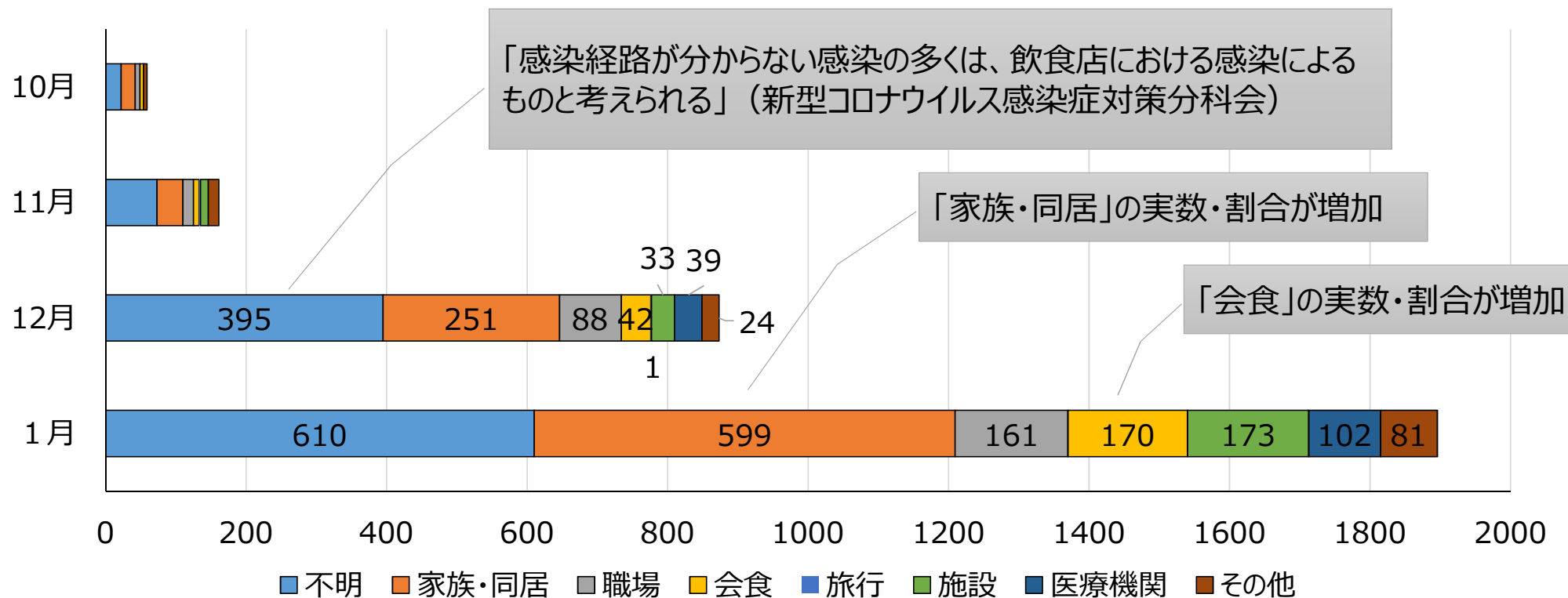
(表 1)

○患者発生状況 (1月21日 16時現在)

項 目	人 数
累積患者数	3,433人
退院者数 (死亡者数を含む)	2,326人
うち死亡者数	29人
療養者数	1,107人
うち入院者数 (入院確定者数を含む)	189人
うち重症者数	20人
宿泊療養者数	93人
施設等療養者数	132人
入院調整中	693人

(感染症対策室 R3. 1. 22 回答)

## 栃木県の最近の感染経路の状況



- 感染経路は、「不明」が最多
- 「家族・同居」の実数・割合が増加 (12月：251(28.8%)→1月：599(31.6%))
- 「会食」の実数・割合が増加 (12月：42(4.8%)→1月：170(8.9%))

⇒会食・飲食による感染拡大リスクを徹底的に抑えることが引き続き必要